



7-0016

0332

大臣

昭和二十年七月一日接受

通商局
主税 政務局

等字
ル

陸軍省 送甲第二〇一八號

在朝鮮五仁川、釜山等ノ臨時陸軍運輸
通信部支那并ニ出張所及臨時電信
部ノ於テハ業務上該地公使、領事ニ交
渉シ要スル事項屬スル者ニ於テ能ク去
廿五ノ間、金第四ノ依リテ該支一ニ
陸ヲ履行シテ該支ニ對シ陸軍部力ヲ敏活
ナラセムルヲ欲ハス。旨同令ニ但書ヲ添ヘ直
接通信ヲ爲ス。該支認ルル事ニ以テ及照
會スル也

昭和二十年七月五日

陸軍大臣對高哈新之勅

昭和八年八月十二日

陸軍省

外務大臣對大隈重信之勅

次官

明治三十年八月十日

大臣
逋商局長

送第一一八號

和方五 名

陸軍大五 飛

在朝鮮王公使及領事官接面修

明治三十年八月十日

外務省

義之國し各月三十分正軍第二〇一八号リ

以テ強ク之能居之極了不有ナリ情を

余義者得、子有接面修之義義德

向此所四美市進中

明治三十年八月十日

記録課長

明治三十年八月九日受

26

明治三十年八月十一日

記録課長加藤

簿書 整理 海

19

明治三十年八月 日 譯了 田所

大臣

次官

通商局長

七

事務大五

名

左記解

通商公使加藤増雄氏

在仁川釜山臨時陸軍軍需部通商部

支那部系出張所及臨時電信部に於て

明治三十年八月十一日

外務省

業務に該地公使及領事と申渡す要あり

預備に及ぶに於て一に該所股長に於て

副支那業務に就任するに於て該所は直接

通信業務に於て支那方面に於て該所は

支那方面に於て該所は支那方面に於て

向在在る支那方面に於て該所は

